



## 平成24年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月13日

上場取引所 東

上場会社名 グローウェルホールディングス株式会社

コード番号 3141 URL <http://www.growell.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田隆右

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼執行役員グループ経営管理本部長 (氏名) 佐藤範正

TEL 03-5207-5878

四半期報告書提出予定日 平成24年7月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年8月期第3四半期の連結業績(平成23年9月1日～平成24年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年8月期第3四半期	214,866	8.3	7,473	△11.1	7,942	△9.8	3,701	1.0
23年8月期第3四半期	198,418	16.3	8,402	77.4	8,806	74.8	3,664	51.5

(注) 包括利益 24年8月期第3四半期 3,869百万円 (1.9%) 23年8月期第3四半期 3,795百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年8月期第3四半期	200.36	—
23年8月期第3四半期	198.30	—

当社は平成23年9月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年8月期第3四半期	114,750	40,503	34.1
23年8月期	106,271	37,349	34.1

(参考) 自己資本 24年8月期第3四半期 39,183百万円 23年8月期 36,186百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年8月期	—	17.50	—	20.00	37.50
24年8月期	—	20.00	—	—	—
24年8月期(予想)	—	—	—	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成24年8月期期末配当金(予想)の内訳: 普通配当20円00銭、記念配当5円00銭

### 3. 平成24年8月期の連結業績予想(平成23年9月1日～平成24年8月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	10.8	12,100	11.4	12,600	10.6	5,500	21.0	297.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年8月期3Q	18,496,167 株	23年8月期	18,496,167 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年8月期3Q	19,814 株	23年8月期	17,551 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年8月期3Q	18,476,671 株	23年8月期3Q	18,478,945 株
----------	--------------	----------	--------------

当社は平成23年9月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、平成24年7月12日付にて、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
(4) 追加情報.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
四半期連結損益計算書.....	7
四半期連結包括利益計算書.....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要により経済活動の回復が進行しつつあるものの、欧州経済不安による円高の進行や不安定な雇用情勢など、先行きの不透明感から消費者の生活防衛意識は高く、引き続き低価格志向型の消費が継続するなど依然として厳しい環境が続いております。

ドラッグストア業界におきましては、異業種参入、業務・資本提携やM&A等の生き残りをかけた業界再編の動きが加速する中、消費の低迷、出店競争や価格競争の波を受け、業界を取り巻く環境は一段と厳しい状況となっております。

このような状況下におきまして、当社グループは「ドラッグ&調剤」を中心としたビジネスモデルの推進に注力するとともに、販促強化策やお客様のニーズに対応する商品戦略等により、昨年の震災特需の反動や花粉飛散量の減少による関連商品の販売不振をカバーすることができ、既存店売上高は好調に推移致しました。一方で、関東甲信越を地盤とするウエルシア関東(株)と寺島薬局(株)は、販促政策の見直しからTポイントカードへの移行導入を実施したこと等により、販売管理費が増加し、営業利益及び経常利益は前年同期と比較して減少致しました。当期純利益については、前年の資産除去債務会計処理基準の適用による特別損失の計上がないことにより、前年同期を上回ることができました。

店舗の出店・閉店につきましては、新規出店56店舗（6店舗の営業譲受を含む）、閉店10店舗となり、当第3四半期連結累計期間末の当社グループの店舗数は742店舗となりました。

(単位：店)

	前期末店舗数 (平成23年8月31日)	出店数	閉店数	第3四半期末店舗数 (平成24年5月31日)
ウエルシア関東 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	385 (304) (310)	26	4	407 (305) (336)
高田薬局 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	120 (70) (64)	9	3	126 (68) (72)
寺島薬局 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	123 (70) (85)	9	1	131 (77) (93)
イレブン (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	68 (23) (47)	12	2	78 (24) (52)
合 計 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	696 (467) (506)	56	10	742 (474) (553)

また、品目別売上高は、下記の通りとなっております。

区分	金額（百万円）	前年同期比(%)
医薬品・衛生介護品・ベビー用品・健康食品	51,798	99.8
調剤	22,132	126.6
化粧品	39,527	108.5
家庭用雑貨	31,058	107.1
食品	51,183	111.1
その他	19,166	109.2
合計	214,866	108.3

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は214,866百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益7,473百万円（同11.1%減）、経常利益7,942百万円（同9.8%減）、四半期純利益3,701百万円（同1.0%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して8,479百万円増加し、114,750百万円となりました。これは主に、商品が5,265百万円、有形固定資産が6,575百万円増加したものの、現金及び預金が2,651百万円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して5,324百万円増加し、74,247百万円となりました。これは主に、買掛金が4,079百万円、短期借入金が4,011百万円増加したものの、未払法人税等が3,522百万円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して3,154百万円増加し、40,503百万円となりました。これは主に、配当金705百万円の支払による減少に対し、四半期純利益3,701百万円を計上したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

「平成23年8月期決算短信」（平成23年10月14日付）において公表した連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度末決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日公表分）及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号 平成22年6月30日）を適用しております。

この適用により、第1四半期連結会計期間に行った株式分割は、前連結会計年度の期首に行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第3四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益は、以下のとおりです。

1株当たり四半期純利益金額	218円13銭
---------------	---------

(4) 追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,591	8,940
売掛金	5,347	6,185
商品	28,398	33,664
その他	4,445	4,041
貸倒引当金	△3	△4
流動資産合計	49,778	52,826
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,269	20,425
土地	6,320	6,638
リース資産(純額)	5,865	7,554
その他(純額)	1,394	1,807
有形固定資産合計	29,850	36,425
無形固定資産		
のれん	9,522	8,537
その他	662	801
無形固定資産合計	10,185	9,339
投資その他の資産		
差入保証金	13,053	13,178
破産更生債権等	70	69
その他	3,420	2,997
貸倒引当金	△86	△86
投資その他の資産合計	16,457	16,159
固定資産合計	56,492	61,924
資産合計	106,271	114,750

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	33,363	37,443
短期借入金	6,725	10,737
未払金	3,183	2,417
未払法人税等	3,735	213
賞与引当金	421	485
ポイント引当金	2,345	925
その他	3,882	4,533
流動負債合計	53,658	56,756
固定負債		
社債	20	—
長期借入金	7,681	8,882
退職給付引当金	586	591
役員退職慰労引当金	1,425	1,495
資産除去債務	1,663	1,838
その他	3,886	4,682
固定負債合計	15,263	17,490
負債合計	68,922	74,247
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	17,725	17,725
利益剰余金	17,479	20,475
自己株式	△33	△38
株主資本合計	36,171	39,163
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14	20
その他の包括利益累計額合計	14	20
少数株主持分	1,163	1,320
純資産合計	37,349	40,503
負債純資産合計	106,271	114,750



(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)
売上高	198,418	214,866
売上原価	140,516	152,111
売上総利益	57,901	62,754
販売費及び一般管理費	49,499	55,281
営業利益	8,402	7,473
営業外収益		
受取利息及び配当金	13	28
不動産賃貸料	100	138
協賛金収入	118	128
その他	414	436
営業外収益合計	647	732
営業外費用		
支払利息	147	120
不動産賃貸原価	38	57
その他	56	84
営業外費用合計	242	262
経常利益	8,806	7,942
特別利益		
貸倒引当金戻入額	0	—
移転補償金	6	—
退職給付制度改定益	—	73
その他	0	4
特別利益合計	8	78
特別損失		
店舗閉鎖損失	21	3
固定資産売却損	16	0
固定資産除却損	14	43
投資有価証券評価損	1	—
減損損失	450	62
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	791	—
災害による損失	232	—
その他	62	29
特別損失合計	1,591	139
税金等調整前四半期純利益	7,223	7,881
法人税、住民税及び事業税	4,081	2,677
法人税等調整額	△640	1,339
法人税等合計	3,440	4,017
少数株主損益調整前四半期純利益	3,783	3,863
少数株主利益	119	162
四半期純利益	3,664	3,701

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,783	3,863
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	12	5
その他の包括利益合計	12	5
四半期包括利益	3,795	3,869
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,676	3,707
少数株主に係る四半期包括利益	119	162

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。